

平成29年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生拠点整備交付金(H28年度繰越事業)

NO		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
2		日向市観光交流拠点施設整備事業		日向地域情報発信センターまちの駅とみたかは、会議室や情報発信コーナーなどを備え、日向・入郷圏域住民の交流促進の場、また情報発信の拠点として、平成19年4月にJR日向市駅高架下に整備され、現在は観光案内や物産販売を行うなど、圏域の交流拠点として活用されている。当該施設は、設置当初の平成20年度売上21,029千円と比較して、平成27年度は約2.2倍の48,343千円を売り上げるなど、着実に収益を伸ばしてきたが、現状の売場面積173㎡では手狭となり、売上げも伸び悩む状況となってきたことから、今回の施設改修等で売場面積を224㎡へと拡張し、喫茶コーナーを新設、また地域ブランド商品等の販売を促進することで、平成32年度までに27年度比21%増の58,629千円の売上げを目標値に、売上げ拡大と収益の向上を目指すもの。						
総合戦略の位置づけ										
基本目標2 豊かな自然を生かし新たな人を呼び込む未来創造戦略										
事業開始		事業終期								
平成29年2月		平成30年1月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1 日向市観光交流拠点施設整備事業		30,069,880	29,678,920	14,839,460	15,230,420	○まちの駅とみたか改修工事 面積:247.6㎡(74.9T) 現在「まちの駅とみたか」内に設置されている日向市観光協会事務所部分と会議室部分、「山車」の展示スペース、在庫保管スペースを、陳列台や催事台、飲食が可能なイトインスペースとして改修し、物販商品の売上や品数の増加、また地域情報発信や地域交流拠点としての機能の強化を図る。				
				0	0					
合計		30,069,880	29,678,920	14,839,460	15,230,420					
重要業績評価指標(KPI)		単位	事業開始前	KPI	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	増加分累計
1	観光入込客数	万人	140	目標値	145	151	157	163	168	84
				実績値	149	153				302
2	まちの駅とみたかの年間売上額	千円	48,343	目標値	48,729	47,602	53,379	56,114	58,627	22,736
				実績値	52,434	56,682				
3	まちの駅とみたかの年間来館者数	人	37,868	目標値	38,089	35,460	39,751	41,407	42,885	8,252
				実績値	32,796	35,610				68,406
4	まちの駅とみたかにおける地域ブランド商品数の取引業者数	社	68	目標値	72	76	71	71	71	21
				実績値	68	72				140
事業効果	地方創生に非常に効果があった	事業を実施した平成29年度においては、まちの駅とみたかの改装工事期間中2ヶ月程度の休館を予定し、年間の売上減▲741千円と来館者減▲2,408人を見込んでいましたが、工事を一括発注することで工期を約2週間短縮でき、減収等を最小限に抑えることができました。さらに、リニューアル後においては、拡張した売り場スペースを有効に活用し、圏域物産の販売強化等を図ったことで、結果的に前年を2,814千円上回る収益を上げることができました。								
今後の方針	事業の継続	今後も日向・入郷圏域の観光、物産、地域情報発信、交流の拠点として、観光客への受入体制の強化や特産品の販売強化に取り組むとともに、市内の観光拠点施設である4つの駅(道の駅ひゅうが、とうごう、まちの駅とみたか、海の駅ほそしま)が連携して情報発信や商品開発などに取り組むことで、相乗効果による観光客や売上の増加を図っていきます。								
評価	本事業により、まちの駅とみたかの売上は増加しており、交流拠点としても大きな役割を果たしている。									

平成29年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生推進交付金

NO		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
1		サーフタウン日向プロジェクト推進事業		南北4キロメートルにわたる「お倉ヶ浜」や「金ヶ浜」には、良質な波が1年を通じて打ち寄せることから、全国のサーフィン愛好者の間で、「サーフィンの聖地」として注目を浴びている。平成29年9月には、アジアで初となる「ISA世界ジュニアサーフィン選手権」が開催されることとなり、国内外からも多くのサーフィン愛好者が来場することが期待されている。また、サーフィンを目的とした移住者が多く、地域活動等を通じて、地域活性化の一躍を担っている。特に、医療福祉現場で働く方も多いため、不足する医療・福祉の人材確保策としても期待される。今回の大会を契機に、国内外に「サーフィンの聖地・日向」としての認知を図り、サーフィン・海など地域資源を活かした観光消費額の増加及び新たな地域の担い手となるサーフィン移住の増加を目指す。						
総合戦略の位置づけ										
基本目標2 豊かな自然を生かし新たな人を呼び込む未来創造戦略										
事業開始		事業終期								
平成29年6月		平成30年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	サーフタウン日向プロモーション事業	10,000,000	10,000,000	5,000,000	5,000,000	①ホームページの英語化業務 ②移住促進PR動画製作業務 ③「ヒュー日向」イラストマニュアル制作業務 ④インスタグラム運用業務 ⑤移住セミナー開催業務				
2	サーフタウン日向推進事業	9,994,763	9,994,763	4,997,381	4,997,382	ISA世界ジュニアサーフィン選手権大会の開催 ①大会開催地負担金 8,000,000円 ②イベント開催補助金 1,994,763円				
合計		19,994,763	19,994,763	9,997,381	9,997,382					
重要業績評価指標(KPI)		単位	事業開始前	KPI	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	増加分累計
1	市内宿泊者数	人	156,000	目標値 実績値	164,000 140,995	172,000	180,000			
2	サーフィン等利用客数	人	220,000	目標値 実績値	231,000 301,983	231,000	230,000			
3	サーフィンを目的とした新たな移住者数	人	5	目標値 実績値	15 11	15	20			
4	年間観光消費額	百万円	2,660	目標値 実績値	3,015 2,409	3,015	3,015			
事業効果	地方創生に非常に効果があった	本事業の影響により、サーフィン等利用客数は、年々増加しています。29年度には、アジアで初めてとなるISA世界ジュニア選手権大会を開催し、大会には、41か国(地域)から選手関係者425名の参加があり、経済効果は約2億5千万円、情報発信効果は約11億円となりました。また、大阪で開催した移住相談会には13組20人の参加があり、サーフィンを目的とした移住相談も年々増加傾向となっています。								
今後の方針	追加等変更し、発展させる	①国内最大規模の女子の国際プロサーフィン大会の誘致に取り組むほか、東京オリンピックに関連するH31年、32年度開催に向けた大規模国際サーフィン大会の招致活動を実施します。 ②都市部に向けた「リラックス・サーフタウン日向」プロモーションを実施します。具体的な滞在型観光につながる動画の作成と、メニューの開発を実施します。また、都市部での移住相談会を開催します。								
評価	本事業により、サーフィン利用客は年々増加している。今後は、個人で来日する外国人旅行者をターゲットに、SNS等を活用した観光施策につなげる必要がある									

平成29年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生拠点整備交付金(H29年度予算)

NO		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
3		日向市しごと創生拠点施設整備事業		「しごと創生拠点」施設としてインキュベーション機能の強化と、新たにコミュニティ機能を付加するため、1階にシェアオフィス、コワーキングスペースを整備し、同時にコミュニティラウンジ機能を持たせる改装を行う。施設は、人材育成のためのセミナーや各種プレゼンテーション、キャリア教育の場などとして活用し、施設の利用者だけでなく地元企業や創業希望者、移住者等と呼び込み相互のコミュニティ環境の構築を深められるようにする。また、コワーキングスペースについては本市にビジネスで訪れる旅行者や学生ベンチャー、移住希望者等の滞在先といった受け皿機能とともに、市内企業のオープンイノベーションの場などとして活用することで、地域内でのビジネスコラボレーションを誘因し、地域の人材やアイデアの集積地としての役割を担い、地域全体の稼ぐ力が向上出来るように図っていく。						
総合戦略の位置づけ										
基本目標1 しごとを創りだす未来創造戦略										
事業開始		事業終期								
平成29年11月		平成30年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1 日向市しごと創生拠点施設整備事業		35,604,391	34,736,750	17,368,375	18,236,016	日向ITセンターの1階部分を改装し、「日向市しごと創生拠点施設」として整備する。施設の機能拡充と利用環境に合わせた空調設備の改修を行う。 ○設計・デザイン ○内装改装 ○空調設備改修				
				0	0					
合計		35,604,391	34,736,750	17,368,375	18,236,016					
重要業績評価指標(KPI)		単位	事業開始前	KPI	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	増加分累計
1	起業件数	件	0	目標値 実績値	0 0	3	3	3	3	12 0
2	新規雇用者数	人	0	目標値 実績値	0 0	30	40	40	40	150
3	施設利用者数	人	0	目標値 実績値	0 0	500	500	500	500	2,000 0
				目標値 実績値						
事業効果	地方創生に効果があった	しごと創生拠点が整備され、日向市産業支援センターひむか-Bizが拠点内に移転したことに伴い、しごと創生拠点は、創業を志す方や、売り上げ増加を目指す中小企業経営者が集う場所として機能し始めた。定期的な交流イベントがコミュニティスペースで開催されており異業種交流によるマッチングが促進されているほか、各種セミナーも開催されており、地域の事業者のスキルアップにもつながっている。このような活動が継続されることで、地域の人材やアイデアの集積地としての役割が果たされ、地域全体の稼ぐ力が向上される。								
今後の方針	事業の継続	しごと創生拠点の運営事業は、平成30年度から地方創生推進交付金の採択となった。これにより、しごと拠点運営のさらなる充実のため、高いビジネススキルを有するコーディネーターを採用予定である。また、ITや広報等の専門スキルを有するアドバイザーの活用なども計画しており、これらの施策により、施設利用への様々なサポートが可能となる。このような事業展開により、しごと創生拠点を中心とした地域産業の活性化をさらに推進していく方針である。								
評価	H29年度は施設整備事業であったため、KPIに関する評価はなし。H30年度から、十分な活用が図られることを期待する。									